

9つの分野と交通が連携することで得られる身近な効果の例

今回、実施したアンケート調査結果やパーソントリップ調査結果等の既存データを踏まえ、9つの分野と交通に関わる施策や事業がクロスセクター効果を発揮することで将来的に、得られる身近な効果の事例を下表に示す。

分野		9つの分野と交通が連携することで得られる身近な効果の例
9つの分野	子育て・教育分野	☐ ベビーカー等を押していても負担なく移動できる ☐ 子育て世代や子どもの通学においても安心して移動できる ☐ 小中高生が自転車等に乗って移動しやすい ☐ 鉄道やバスに乗降しやすい ☐ バスを待つ環境が整っている ☐ 地域の共助により移動手段が確保されている ☐ 子どもへの交通に関する教育や意識啓発を実施している ☐ 通学路が安全である
	福祉・介護分野	☐ 高齢者の方でも自転車等に乗って移動しやすい ☐ 高齢者や障がい者の方が負担なく移動できる ☐ 鉄道やバスに乗降しやすい ☐ バスを待つ環境が整っている ☐ タクシーがつかまえやすい ☐ 地域の共助により移動手段が確保されている
	健康分野	☐ サイクリングに出かけたくなる ☐ 徒歩や自転車、公共交通で出かけたくなる

文化・スポーツ分野	☐ 文化・スポーツ施設へのアクセスが便利 ☐ 区の歴史や文化・芸術施設を活かした道路環境が整っている
観光分野	☐ 観光客が訪れやすい、回遊しやすい ☐ 鉄道やバスなどの公共交通の行き先がわかりやすい ☐ 観光スポット周辺に外国人を含め、誰が見ても、わかりやすい案内版が整っている ☐ にぎわいや交流がある駅前広場や道路空間が整っている
商業・産業分野	☐ 商店街で買い物を楽しみながら安心して移動できる ☐ 物流拠点周辺や駅・商店街周辺の荷捌き環境が整っている
環境分野	☐ 車に頼らず、鉄道やバスに乗って目的地まで行ける ☐ 自転車や車をシェアして、目的地まで到着することができる
防災・危機管理分野	☐ 災害時でも安心・安全に通行できる道路が整っている（避難路、消防活動、延焼防止等の確保）
都市づくり分野	☐ 都市生活を支える道路空間が整っている ☐ 人が歩きやすい歩道空間が整っている ☐ 自転車が走行しやすい環境が整っている ☐ 駅前広場が利用しやすい ☐ 鉄道やバスが利用しやすい（速達性・定時制、待つ環境、乗換え） ☐ 地域内の交通手段が充実している ☐ 都心・副都心や広域交通拠点へのアクセスが便利